

## 静岡県医療健康産業研究開発センター指定管理者評価委員会

### 1 開催日時

平成30年8月22日（水） 13時30分～15時30分

### 2 場所

静岡県医療健康産業研究開発センター 大会議室

### 3 指定管理者名

公益財団法人 静岡県産業振興財団

### 4 評価委員

氏名	役職	備考
廣部雅昭	東京大学名誉教授（元静岡県立大学学長）	有識者（委員長）
伊藤泰之	東海部品工業(株)専務取締役	施設利用者
岩城徹雄	(一財)アグリオープンイノベーション機構専務理事兼事務局長	有識者
久保田秀彰	(株)テクノサイエンス機器事業部第一部部長	施設利用者
竹村祐輔	中小企業診断士	有識者

### 5 議題

(1) 開会

(2) 県あいさつ

(3) 委員紹介

(4) 議事

ア 評価方法の説明

イ 指定管理者によるプレゼンテーション

ウ 質疑応答

エ 意見交換及び評価

オ 講評

(5) 閉会

### 6 会議録

別紙のとおり

※ 各委員及び事務局の発言要旨を記載しており、各委員については発言を特定していない。

※ 委員長については委員長職としての発言のみ特定している。

※ 県新産業集積課による発言は（事務局）として記載している。

## 静岡県医療健康産業研究開発センター指定管理者評価委員会議事録

- 1 開会
- 2 県あいさつ
- 3 委員紹介
- 4 議事
  - (1) 評価方法の説明
  - (2) 指定管理者によるプレゼンテーション
  - (3) 質疑応答

(委員)

事業実績報告上の「入居者」と「利用者」の区分の違いは何か

(指定管理者)

県の許可により入居している企業を「入居者」、会議室利用者を「利用者」と表記している。

(委員)

指定管理業務における連携交流事業において、入居企業と地域企業とのマッチングを実施しているという理解でよいか。また、地域企業と地域企業とのマッチングの実施主体は何か。

(指定管理者)

入居企業と地域企業のマッチングについてはお見込みのとおり。後段の地域企業間のマッチングについては、県の補助金によりファルマバレーセンターが実施しており、連携は取るが会計上、指定管理業務とは明確に区別している。

(委員)

平成 29 年度実績の共同研究 7 件についての各事業の成果計上のタイミングはどこか。

(指定管理者)

開始は平成 29 年度とは限らず、一定の成果により公表が可能となったタイミングで計上している。7 件の共同研究毎に進捗は異なる。

(委員)

リーディングパートナー企業が地域企業を支援する仕組みは指定管理者が担うということでのよいか。

(指定管理者)

お見込みのとおり。平成 29 年度は指定管理者を介してリーディングパートナー企業が、地域企業とのビジネスマッチング商談会に出席した。その他にも、リーディングパートナー企業による地域企業への品質管理体制構築の支援等を実施している。

(委員)

危機管理体制について、本年度は想定外の猛暑やゲリラ豪雨等があったが、落雷等もあったかと思う。特に電源関係の問題として、落雷時の事前予防等は実施したか。また、落雷時の発火可能性については問題ないか。

(指定管理者)

平成 29 年度においては、落雷時の予防対応等を行わなかった。設計上、ブレーカーが落ちるので、落雷時に発火する可能性はない。

(委員)

危機管理について、説明の中では危機管理対応マニュアルを作成しているとのことだが、一般的なものであるか、それとも個別災害（地震・火災等）毎に作成しているものか。

(指定管理者)

入居企業毎で持ち込んでいる機材に差異があることに加え、各企業の研究上の秘密保持等もあり、災害時といっても無条件に入居企業の研究室に入れるわけではない。基本的には各企業対応として入居者の理解を得ているが、例えば、豪雨警報の際など個別ケースにより、緊急連絡網により対応している。

(委員)

急を要する案件もあると思うので、臨機応変に対応できると良いと思う。ちなみに、火災の発生はあったか。

(指定管理者)

ない。ヒヤリハットレベルでも発生していない。

(委員)

この施設は指定避難所に指定されているのか。

(指定管理者)

この施設は指定されていない。最寄の指定避難所は長泉町立北小学校。ただし、万一のことを想定し、若干の備蓄品はストックしている。

(委員)

西日本豪雨の事例もある。例えば、地域企業研究開発生産エリアについては、高さがグラウンドレベルであることから、水が浸入する可能性があると思われる。土嚢のストック等、指定管理者と入居者間で連携を密にして対応を検討してほしい。

(委員)

グラウンドレベルの話があったが、施設南西の調整池の役割はなにか。

(指定管理者)

本施設は山の中腹に位置しており、駐車場にアスファルトを敷設している。そのままでは、降雨時に、雨水が地下に浸透しないため、一度に施設南側の住宅地に流れ込んでしまう。それを防ぐため、調整池に雨水を一度ためた上で、24 時間かけゆっくりと排水している。

(委員)

調整池は旧長泉高校時代からあったものか。又、常に枯れているものか。

(指定管理者)

旧長泉高校時代はグラウンドの土に浸透していたため調整池はなかった。調整池が仮に満水になっていても、24 時間以内で排水される設計になっているため、連続して降雨がなければ、常時枯れている。先日の西日本豪雨の事例等、今後設計を超える様な「想定外」の事例への対応について、施設設置者の県と協議していきたい。

(委員)

調整池が設計どおりの機能を発揮するためには、排水機能の低下を防ぐ必要があると思われる。雑草の繁茂等はないか。

(指定管理者)

排水機能を維持するため、常にきれいにしている。

(委員)

調整池の機能低下についての一番の原因については、施設西側に位置する林からの落ち葉だと思われる。例えば、防葉ネットのようなものの設置可能性についても検討してほしい。

(委員)

今年は特に猛暑であるが、草取り作業をしている人たちの健康管理は大丈夫か。

(指定管理者)

給水休憩を適宜取ってもらっている他、作業 1 時間毎に必ず休憩してもらっている。

(委員)

本施設については廊下にエアコンが設置されていない。南棟の 3 階については、セキュリティ用の扉で閉ざされる上、日光がよく当たることから非常に高温となっている。例えばエアコンの設置等は検討できないか。

(指定管理者)

施設の追加整備については、県とも相談しての対応となる。運用上できることとしては、換気を行うことで対応したい。

(委員)

施設名称の表示等、利用者サービスは満足している。

(委員)

入居者支援は文句のつけようが無い。色々な相談への対応や支援をしていただいている。

(委員)

この施設の主な目的は入居者の連携となると思う。その際は、Win-Win の関係となるのが理想的だと思う。そうならない場合の連携時の費用負担区分は、どのように設

定しているのか。

(指定管理者)

連携交流事業という指定管理事業で実施する範囲においては、県からの指定管理料でまかなっている。

(委員)

入居企業間の連携、入居企業と地域企業との連携で費用負担に差はあるか。

(指定管理者)

セミナーについて無料とするなど、費用格差は設定していない。

(委員)

報告のあった静岡がんセンターとの連携について、入居企業が全て静岡がんセンターの医療現場見学会に参加している。静岡がんセンター以外との連携はあるか。

(指定管理者)

平成 30 年度の実績であるが、他クラスターとの連携を開始している。

(委員)

医療機関との連携という話では、県立総合病院との関係（成果品の PR）もあると思う。それについても平成 30 年度に予定しているか。

(指定管理者)

医療機関への成果品 PR は、平成 28 年度から事業推進部（補助金による事業執行部門）が継続して実施しており、その中に入居企業の成果品も含まれている。

(委員)

補助金事業部門と指定管理事業部門の連携としては、（補助金事業部門で実施している）毎年 2 月実施の産学官金連携フォーラムにおいて、アグリオープンイノベーション推進機構も参加した。地域に根ざした活動として、良い事業を行ってもらい感謝している。

指定管理事業の中で、「次にこのような事業をやろう」というような案はあるか。

(指定管理者)

指定管理事業ではないが、産学官金連携フォーラムについては、御好評いただいているが、入場者が減少傾向にある。本年度は静岡県東部 4 信金と連携し、展示と商談を一体で行える展示会にしたいと考えている。

補助金事業部門の事業見直しを踏まえ、より連携できるかたちで指定管理業務を見直していきたい。

(委員)

平成 29 年度事業の評価ではないが、今後、ランチョンセミナーを一般に公開する等は検討しているか。

(指定管理者)

平成 29 年度については、地域交流イベントを実施した。本年度は、地元の産業祭に出展してプロジェクトの PR を行うことを計画している。

(委員)

現在、色々な学会においてランチョンセミナーが流行っているが、参加費の取扱いはどうなっているか。

(指定管理者)

参加者については、食事代実費分を負担いただいている。

(委員)

食堂等の入居者への厚生事業はうまくいっているか。

(指定管理者)

概ね好評であるが、利用者の満足度調査等では、「ハイカロリー」「量が多い」「味付けが濃い」といった意見はある。

(委員)

医療「健康」産業研究開発センターという名前だが。

(指定管理者)

食堂事業委託先との交渉では、健康志向の食材・メニューは价格的に高くなるとの意見もある。売上げ等を考慮しながら検討していきたい。

(委員)

指定管理事業とは直接関係無いが、新聞報道等で、トヨタ自動車が生産の拠点を裾野から岩手に移すという環境変化があったり、跡継ぎがないことで事業を辞めてしまう企業が多かったりする。県も含めて色々と考えてほしい。

(指定管理者)

ファルマバレーセンターの補助金事業部門には、信用金庫からの派遣職員等もいる。補助金事業・指定管理事業が連携して、地域企業の悩み事に応えていきたい。

(委員)

ファルマバレーセンター全体としてセミナーの年間開催件数は計画を立てているのか。

(指定管理者)

大きく分けて、補助金事業として「医療機器ビジネス参入セミナー」「経営戦略セミナー」を実施し、指定管理事業として「知的財産セミナー」「製品開発セミナー」を実施している。本年度においては、県が実施する「日米医療機器イノベーションフォーラム静岡 2018」と「バイオデザインセミナー」が計画されている。

(委員)

収支決算書で利益が計上されている。この利益の扱いはどのようになるのか

(指定管理者)

指定管理事業として収入があるが、静岡県産業振興財団としての公益会計に繰り入

れ、ファルマバレープロジェクトの推進のため支出している。

(委員)

当該収入は入居者対象事業で資金があまったということではないのか。

(指定管理者)

入居者から共益費としてお預かりした資金は全て使用している。当該収入は、県からの指定管理料の内、一般事務費等で経営努力により削減できた部分や、会議室収入によるもの。

#### (4) 意見交換及び評価

—

#### (5) 講評

(委員長)

評価の結果は100点満点中87.6(5委員の平均)で「優」である。

各委員の評価の所見について発言(以下のとおり)

- ・ 全てがほぼ順調に進展していると高く評価する。連携事業の具体的成果が明示できるよう期待する。
- ・ 職員の契約年数が一年単位では落ち着かないため、もう少し長い期間での契約としてはどうか。
- ・ 交流ホールを除いて施設利用率も向上し、その他施設的な改善要求にも応じている。一方で平成30年度においては想定を超える暑さがあったり、想定外の出来事が起こりえるため、十分に先を見据えた対応を心がけてほしい。
- ・ 入居者支援事業、連携交流事業をしっかりと行い、実績が上がっていることがよく分かった。今後も地域企業に具体的なメリットが出るような事業をお願いしたい。
- ・ 収益はもう少し支援業務に割り当ててもよいのではないか。

## 5 閉会